

# 個人管理画面

「UserTool」利用マニュアル

2016/08/22 更新

## 目次

---

ログイン方法.....	3
ログアウト方法.....	4
メールサービス.....	5
メールサービス画面構成.....	5
アカウント詳細/設定.....	6
アドレス変更.....	7
パスワード変更.....	9
高機能フィルター.....	11
迷惑メールフィルター.....	12
SPAM の判定基準について.....	13
フィルター強度の設定.....	14
ブラックリスト/ホワイトリスト.....	15
ユーザーフィルター設定.....	19
新規フィルターの追加.....	19
ユーザーフィルターの適用順の変更.....	24
ユーザーフィルターの編集と削除.....	24
My ホームページ.....	25
My ホームページ画面構成.....	25
アカウント詳細/設定.....	26
FTP アカウント変更.....	28
パスワード変更.....	30
アクセスカウンター設定.....	32
フォームメール.....	34

## ログイン方法

(1) Web ブラウザで「https://tool.iiyumenet.jp/」を開きます。

(2) 画面が開きましたら、登録通知に記載の「UserTool ログイン ID」と「パスワード」を入力し、**[ログインする]**ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'UserTool ログイン画面' (UserTool Login Screen). At the top, there is a blue header with the text 'UserTool ログイン画面'. Below the header, there is a message: 「UserToolログインID」と「パスワード」を入力し、「ログインする」ボタンをクリックしてください。 (Please enter your UserTool login ID and password, and click the 'Login' button). Below this message, there are two input fields: 'UserToolログインID:' with the value '1234567@xxxxx.jp' and 'パスワード:' with a masked password '.....'. A red box highlights both input fields. Below the input fields, there is a button labeled 'ログインする' (Login), which is also highlighted with a red box.

◆ ログインに失敗した場合は下記のエラー画面が表示されます。

正しい「UserTool ログイン ID」と「パスワード」を入力し、ログインを行います。

The screenshot shows the 'UserTool ログイン画面' (UserTool Login Screen) with an error message. At the top, there is a blue header with the text 'UserTool ログイン画面'. Below the header, there is a message: 「UserToolログインID」と「パスワード」を入力し、「ログインする」ボタンをクリックしてください。 (Please enter your UserTool login ID and password, and click the 'Login' button). Below this message, there are two input fields: 'UserToolログインID:' with the value '1234567@xxxxx.jp' and 'パスワード:' with a masked password '.....'. A red box highlights the password field. Below the password field, there is a red error message: 正しいユーザー名またはパスワードを入力してください。 (Please enter the correct user name or password). Below the input fields, there is a button labeled 'ログインする' (Login).

※ 「UserTool ログイン ID」は大文字と小文字を区別しませんが、「パスワード」は大文字と小文字を区別しますので、ご注意ください。

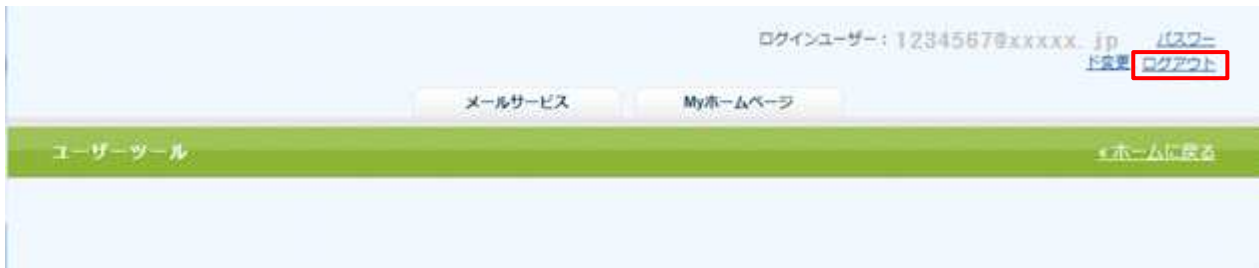
※ UserTool ログイン ID とパスワードは登録通知の 5. 個人管理画面に記載してあります。

### 5. 個人管理画面 (UserTool)

ログインURL	https://tool.iiyumenet.jp/	
ログインID / パスワード	1234567@xxxxx.jp	xxxxxx

## ログアウト方法

(1) UserTool からログアウトするには、画面右上の「ログアウト」をクリックします。



(2) ログアウトが完了すると、ログイン画面が表示されます。



## メールサービス

「メールサービス」タブをクリックする事で、メールサービスの設定画面が表示されます。

### メールサービス画面構成

メールサービス画面では、メールアドレスの一覧画面が表示されます。



メールアドレス	設定変更可能なアドレスが表示されます。  ●木次局：@bs.kkm.ne.jp ●大東局：@hotaru.yoitoko.jp ●掛合局：@i-yume.ne.jp ●飯南局：@iinan-net.jp
タイプ	「mailbox」が表示されます。
区分	「メイン」と「追加」の2種類がありますが、この2つに違いはありません。
状態	「有効」になっています。
容量	メールボックスの総容量サイズが表示されます。
使用量	現在のメールボックスの使用量が表示されます。
使用率	現在のメールボックスの使用率が%で表示されます。
転送先メールアドレス	何も表示されません。 ※転送設定がされていてもここには表示されません。
登録日	アカウントの登録日時が表示されます。
操作	【編集する】ボタンを押すと、メールアドレスの設定の確認や変更画面が表示されます。

## アカウント詳細/設定

(1) 設定の確認や変更を行いたいメールアドレスの[編集する]ボタンをクリックします。



(2) 「アカウント詳細/設定」画面は、以下の5つの部分から構成されています。



(1)	現在の操作対象のメールアドレスが表示されます。 「アドレス変更」の項目で、メールアドレスの変更(リネーム)も行えます。
(2)	メールボックスの利用状況とパスワード(登録通知に記載のパスワード)、フィルタータイプが表示されます。 「パスワード」の項目で、パスワードの変更が行えます。 フィルタータイプには、「高機能フィルター」と「標準フィルター」のどちらかが表示されます。
(3)	迷惑メールフィルターの設定項目です。 フィルタータイプが標準フィルターの場合は、ON/OFFのみとなりますが、高機能フィルターの場合はONにする事でフィルター強度、ブラックリスト、ホワイトリストの設定項目が表示されます。
(4)	ユーザーフィルターの設定項目です。 ユーザーフィルターでは受信メールの仕分けルールを任意の条件で設定する事が可能です。 [新規フィルターの追加]ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
(5)	[保存する]ボタン：設定した条件を保存する際に使用します。 [キャンセル]ボタン：設定した条件を保存しない場合に使用します。

## アドレス変更

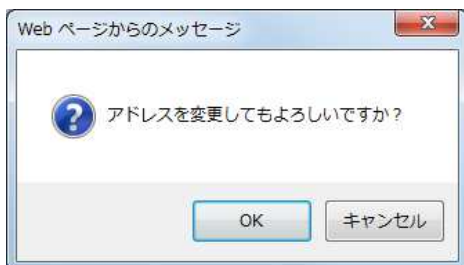
アドレス変更機能で、メールアドレス(mailbox アカウント)をリネームする事ができます。

- (1)アカウント詳細/設定画面の、「アドレス変更」の入力欄に新しいメールアドレスを入力し、**[変更する]**ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'My Home Page' section for 'メールサービス' (Email Service). The 'アカウント詳細/設定' (Account Details/Settings) page is displayed. The 'アドレス変更' (Address Change) section is highlighted with a red box. It contains an input field with the placeholder 'xxxxxx.jp' and a '変更する' (Change) button. Below the input field, there is a note: '3~64文字の半角英数字、記号（ハイフン「-」、アンダーバー「\_」、ドット「.」）で入力してください。英字は小文字で入力してください。' (Please enter 3-64 alphanumeric characters, hyphen, underscore, or dot. English letters must be lowercase.)

- (2)確認メッセージが表示されます。

変更する場合は**[OK]**、変更をやめる場合は**[キャンセル]**ボタンをクリックします。



- (3)変更が完了すると、「メールアドレス」欄に変更後のメールアドレスが表示されます。

The screenshot shows the 'アドレス変更' (Address Change) section after the change is complete. The input field now displays the new email address 'xxxx@xxxx.jp' and is highlighted with a red box. The '変更する' (Change) button is still visible to the right. The same note about character requirements is present below the input field.

**■アドレス変更失敗ケース1：既に同じメールアドレスが存在している**

既に同じメールアドレスが存在している場合は、下図のメッセージが表示されます。  
別のメールアドレスを再入力して、[変更する]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- 「new\_mailbox@SiriusCloud.jp」がすでに存在しています。

**■アドレス変更失敗ケース2：新しいメールアドレスが2文字以下**

新しいメールアドレスが短すぎる(2文字以下)場合は、下図のメッセージが表示されます。  
3文字以上でメールアドレスを再入力して、[変更する]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- メールアドレスが短過ぎます(3文字以上で入力してください)。

**■アドレス変更失敗ケース3：新しいメールアドレスに非対応文字を使用**

新しいアドレスに不適切な文字列を使用した場合は、下図のメッセージが表示されます。  
使用できない文字を入力していないかを確認し、再入力します。

※メールアドレスで利用出来る文字は半角小文字のa~z、0~9、\_、-、.、となっておりま。

以下の入力エラーを修正してください。

- メールアドレスは、半角英数小文字で適切な文字列を入力してください。



## パスワード変更

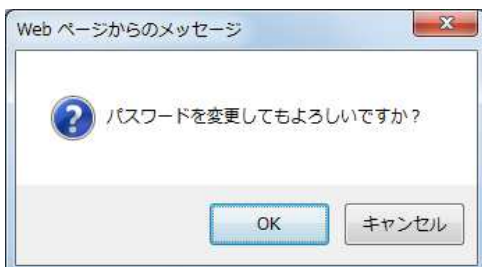
パスワード変更機能で、パスワードの変更と初期化が行えます。

- (1) アカウント詳細/設定画面の、「パスワード」の入力欄に新しいパスワードを入力し、**[変更]**ボタンをクリックします。

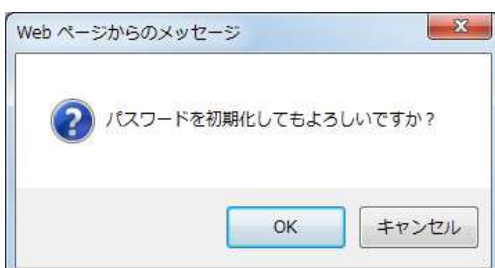
The screenshot shows the 'My Home Page' account settings interface. The 'パスワード' (Password) section is highlighted with a red box. It contains a text input field with masked characters, a '初期化' (Reset) button, and an '変更' (Change) button. Below the input field, there are instructions: '9~128文字の半角英数字、記号（「!」、「@」、「#」、「\$」、「%」、「&」、「\*」、「~」）で入力してください。英字は小文字で入力してください。' (Please enter 9 to 128 alphanumeric characters and symbols. English letters must be lowercase.)

- (2) 確認メッセージが表示されます。

変更する場合は**[OK]**、変更をやめる場合は**[キャンセル]**ボタンをクリックします。



- ★ **[初期化]** ボタンを押した際には、入力欄の内容に関わらず、初期設定のパスワードに変更されます。その際には、下図のような確認メッセージが表示されます。



**■パスワード変更失敗ケース 1：新しいパスワードが5文字以下**

新しいパスワードが短過ぎる（5文字以下）場合は、下図のメッセージが表示されます。  
6文字以上で正しいパスワードを再入力して、[変更]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- パスワードが短過ぎます(6文字以上で入力してください)。

**■パスワード変更失敗ケース 2：新しいパスワードに非対応文字を使用**

新しいパスワードに不適切な文字列を入力した場合は、下図のメッセージが表示されます。  
使用できない文字を入力していないかを確認し、正しいパスワードを再入力します。  
※パスワードで利用出来る文字は、半角、a~z、A~Z、0~9、\_、-、\$、@、:、;、^、{、}、/、です。

以下の入力エラーを修正してください。

- パスワードは、半角英数字で適切な文字列を入力してください。

**■パスワード変更失敗ケース 3：新しいパスワードがメールアドレスと同じ文字列**

パスワードがメールアドレスと同じ場合は、下図のメッセージが表示されます。  
メールアドレスとは異なるパスワードを入力し、[変更]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- 新しいパスワードは、アカウントと同じ文字列で設定できません。

### 高機能フィルター

設定項目は、「迷惑メールフィルター」と「ユーザーフィルター」の2つがあります。

The screenshot shows the '迷惑メールフィルター' (Spam Filter) settings. It includes a strength slider set to 9, a blacklist, and a whitelist. The user filter section is currently empty.

迷惑メールフィルター	フィルター強度設定(15段階)やブラックリスト、ホワイトリストの設定が可能となっております。
ユーザーフィルター	受信したメールの送信者や件名、サイズなど詳細な条件を指定し、転送、バケーションメールの他に移動、コピー、破棄、削除など多彩な処理が設定可能です。 また、複合条件や処理を行う時間を設定する事も可能となっております。

## 迷惑メールフィルター

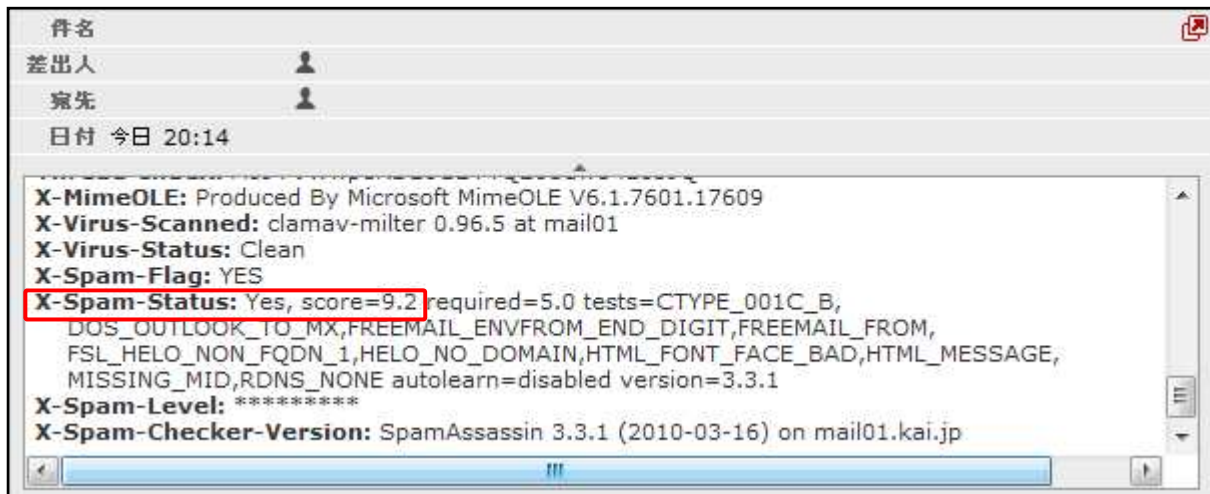
迷惑メールフィルターが OFF の場合、受信メールのヘッダー部分の Score を判断せず、全部受信トレイに格納されます。

迷惑メールフィルターが ON の場合、高機能フィルターの迷惑メールフィルターでは、フィルターの強度設定(15段階)、ブラックリスト/ホワイトリストの作成が可能となっております。

迷惑メールフィルターが ON の場合、下記の条件に合致したメールが SPAM 判定され、迷惑メールフォルダに格納されます。

- ・ブラックリストに設定されている条件に合致している
- ・メールヘッダの「X-Spam-Status」の score が設定したフィルター強度以上の場合
- ・フィルタ強度が最弱でホワイトリスト/ブラックリストに設定なし、Score が 15 以上と判定されている場合

※ホワイトリスト/ブラックリストの詳細説明は「アカウント設定情報の確認と設定変更>mailbox アカウント設定>ブラックリスト/ホワイトリスト」をご参照ください。



## SPAM の判定基準について

本機能では二次フィルターに実装している SpamAssassin にて SPAM 判定を行っています。

SpamAssassin が SPAM 判定基準としている要素はメールヘッダから確認が可能です。

X-Spam-Status	<p>メール内の SPAM 要素を Score として数字で表示します。</p> <pre style="border: 1px solid black; padding: 5px;">X-Spam-Status: Yes, score=9.2 required=5.0 tests=CTYPE_001C_B, DOS_OUTLOOK_TO_MX,FREEMAIL_ENVFROM_END_DIGIT,FREEMAIL_FROM, FSL_HELO_NON_FQDN_1,HELO_NO_DOMAIN,HTML_FONT_FACE_BAD,HTML_MESSAGE, MISSING_MID,RDNS_NONE autolearn=disabled version=3.3.1</pre> <p>上記例では Score は 9.2 という事になります。 Score 以降の記述は、加点要素が記載されています。</p>
X-Spam-Level	<p>X-Spam-Status の Score が 1.0 以上の場合に表示されます。</p> <pre style="border: 1px solid black; padding: 5px;">X-Spam-Level: *****</pre> <p>Score の数字は『*』を使って 1 単位ずつ表示されます。 例) score=3.9 の時には「***」星 3 つ、score=5.1 の時には「*****」星 5 つ</p>
X-Spam-Flag	<p>X-Spam-Status の Score が 5.0 以上の場合に表示されます。 X-Spam-Flag: YES と表示されます。 また、Score が 5.0 以上の場合は SPAM としてフラグが立ちます。</p>

## フィルター強度の設定

強度は、最弱(X-Spam-Status の Score が 15 以上)～最強(1 以上)の 15 段階で調整可能です。  
設定強度以上の Score のメールを受信した場合に迷惑メールフォルダにメールが格納されます。

(1) 迷惑メールフィルターの項目の ON にチェックを入れます。

(2) フィルター強度欄内のスライダーを任意の場所にドラッグ操作で調整します。

1 (弱)～15(強)の 15 段階で設定が可能です。スライダーに現在の強度が表示されます。

※最強設定にした場合、通常のメールも SPAM として判定される可能性がある為、ご注意ください。

あわせてホワイトリスト機能も設定していただく事をお勧めします。

(3) 設定後、画面最下部にある【保存する】ボタンをクリックします。

## ブラックリスト/ホワイトリスト

それぞれ、受信拒否/許可の設定を行う機能になります。

ブラックリストに登録した条件に合致するメールは迷惑メールフォルダへ、ホワイトリストに登録した条件に合致するメールは受信トレイフォルダに移動します。

※ブラックリストとホワイトリストで重複した条件が設定されている場合は、  
ホワイトリストのルールが優先されます。

## ブラックリスト/ホワイトリストの設定方法

(1) 迷惑メールフィルターの項目の ON にチェックを入れ、ブラックリスト、またはホワイトリストの項目にある、[新規条件の追加] ボタンをクリックします。

(2) 設定画面で条件を設定します。新しく条件を追加するには、[新規条件の追加] ボタン、  
条件を削除する場合は、[条件の削除] ボタンをクリックします。

条件の設定画面は選択したメニューにより、3つのパターンに変化します。

◆パターン1：「送信者 (from)、受信者 (to, cc)、件名 (Subject)、本文 (body) が」を選択した場合

(1)	送信者 (from) が	条件にメールの送信者 (from) を指定する場合に選択します。
	受信者 (to, cc)	条件にメールの受信者 (to, cc) を指定する場合に選択します。
	件名 (Subject)	条件にメールの件名 (Subject) を指定する場合に選択します。
	本文 (body)	条件にメール本文 (body) を指定する場合に選択します。
(2)	条件となる、メールアドレス、ドメイン、件名、本文 (文章) を入力します。	
(3)	を含む	(2) で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文 (文章) が含まれている場合に動作します。 ※含む/含まないは、部分一致を意味します。
	を含まない	(2) で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文 (文章) が含まれていない場合に動作します。
	と一致する	(2) で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文 (文章) が一致する場合に動作します。 ※一致する/しない設定は、条件の完全一致を意味します。 例えば、『From が』『test@abcd.jp』と『一致する』という設定をしても、実際に送られて来たメールヘッダの From が、『test@abcd.jp』となっている場合には、一致とは判定されない為、フィルター設定は動作しません。
	と一致しない	(2) で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文 (文章) が一致しない場合に動作します。
	存在する	(2) で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文 (文章) が存在する場合に動作します。 ※存在する/しないは、header 情報の有無を確認する項目となります。 例) 「From:」「To:」「Cc:」「Subject:」のヘッダが存在するかどうかを判断します。 ※『本文 (body)』設定はメールヘッダに『body:』というヘッダがそもそも存在しない為、設定しても動作いたしません。
	存在しない	(2) で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文 (文章) が存在しない場合に動作します。



◆パターン2：「メールヘッダー(header)が」を選択した場合。

(1) メールヘッダー(header)が (2) (3) (4) を含む 条件の削除

(1)	メールヘッダー (header)が	条件にメールヘッダー(header)を指定する場合に選択します。
(2)		<p>条件となる、headerを入力します。headerはメール画面から確認できます。</p> <p>【入力例】From(送信者)が、test@abcd.jpを含む場合 この場合は「From」と入力します。</p> <p> <input type="text" value="メールヘッダー(header)が"/> <input type="text" value="From"/> <input type="text" value="test@abcd.jp"/> <input type="text" value="を含む"/> <input type="button" value="条件の削除"/> </p>
(3)		<p>(2)で入力したheaderの詳細条件を入力します。</p> <p>【入力例】From(差出人)が、test@abcd.jpを含む場合 この場合は「test@abcd.jp」と入力します。</p> <p> <input type="text" value="メールヘッダー(header)が"/> <input type="text" value="From"/> <input type="text" value="test@abcd.jp"/> <input type="text" value="を含む"/> <input type="button" value="条件の削除"/> </p>
(4)	を含む	<p>(2)と(3)で入力した、header情報が含まれている場合に動作します。</p> <p>※含む/含まないは、部分一致を意味します。</p>
	を含まない	<p>(2)と(3)で入力したheader情報が含まれていない場合に動作します。</p>
	と一致する	<p>(2)と(3)で入力したheader情報が一致する場合に動作します。</p> <p>※一致する/しないは、完全一致を意味します。</p>
	と一致しない	<p>(2)と(3)で入力したheader情報のいずれかが一致しない場合に動作します。</p>
	存在する	<p>入力したheader情報が存在する場合に動作します。</p> <p>※存在する/しないは、header情報の有無を確認する項目となります。</p> <p>例)「From:」「To:」「Cc:」「Subject:」等のヘッダが存在するかしないかを判断します。</p> <p>※こちらの項目を選択した際には項目が変化します。</p> <p> <input type="text" value="メールヘッダー(header)が"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="存在する"/> <input type="button" value="条件の削除"/> </p> <p> <input type="text" value="メールヘッダー(header)が"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="存在する"/> <input type="text" value="存在する"/> <input type="text" value="存在しない"/> </p>
存在しない	<p>入力したheader情報が存在しない場合に動作します。</p>	

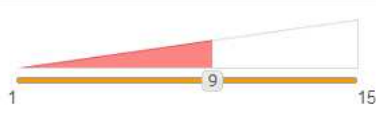
◆パターン3：「メールサイズが」を選択した場合。

(1) メールサイズが (2) (3)  バイト  KB  MB  GB 以上の時  
 以上の時  
 以下の時

(1)	メールサイズが	条件にメールサイズを指定する場合に選択します。
(2)	(3)で選択する単位に応じた数値を入力します。	
(3)	メールサイズの単位を選択します。 バイト～GB、設定した数値以上/以下の設定が行えます。	

(3)設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

迷惑メールフィルター  ON  OFF

フィルター強度  フィルター強度は15段階で設定することができます。通常は8～12の範囲内での調整を推奨します。  
 【設定参考値】  
 1～7：弱い（あまらかな迷惑メールを対象とします）  
 8～12：普通（推奨設定値）  
 13～15：強い（通常のメールが対象となる可能性も高くなります）

ブラックリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。

メールヘッダー (header) が From test@abcd.jp を含む 条件の削除

ホワイトリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理されます。

送信者 (from) が 重要 を含む 条件の削除  
 送信者 (from) が test02@abcd.jp を含む 条件の削除

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

## ユーザーフィルター設定

ユーザーフィルター設定では、任意の仕分けルールと処理内容でフィルター設定が作成可能です。受信したメールの送信者や件名、サイズなど複合的な詳細な条件を元に、転送、バケーションメールの他にメールの移動、コピー、破棄、削除など複数の処理が設定可能です。

※迷惑メールフィルターを通過していないメール(SPAM 判定されていない)はユーザーフィルターが適用されません。

## 新規フィルターの追加

- (1) ユーザーフィルター項目にある、[新規フィルターの追加] ボタンをクリックします。  
ユーザーフィルターの新規作成画面が表示されます。



(2) フィルターの名前欄に、任意のフィルター名を入力します。

フィルターの名前	<input type="text"/>
----------	----------------------

(3) ルールの適用条件を設定します。新しく条件を追加するには、[新規条件の追加]、または[追加]ボタン、設定した条件を削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。

ルールの適用条件 (1) <input checked="" type="radio"/> 以下のルールのいずれかに一致 <input type="radio"/> 以下のルールの全てに一致 <input type="radio"/> 全てのメールに適用			
送信者 (from)が 送信者 (from)が 受信者 (to, cc)が 件名 (subject)が 本文 (body)が メールヘッダー (header)が メールサイズが	(2)	を含む を含む を含まない と一致する と一致しない 存在する 存在しない	追加 削除
<input type="button" value="新規条件の追加"/>			

(1)	以下のルールのいずれかに一致	設定した条件のいずれかに一致した場合に、処理が実行されます。 (or 条件の指定になります)
	以下のルールの全てに一致	設定した条件の全てに一致した場合に、処理が実行されます。 (and 条件の指定になります)
	全てのメールに適用	全てのメールで処理が実行されます。 (こちらを選択すると、適用条件設定項目が非表示となり、受信した全てのメールに処理が適用されます。)
(2)	適用条件設定項目はブラックリスト/ホワイトリストと同じ仕様となります。 設定の詳細については[ブラックリスト/ホワイトリスト]をご参照ください。	

(4) 設定したルールの適用時間を設定します。

「常時」または「時間指定」にチェックを入れて 0～23 時の間で時間を指定します。

※時間指定の場合は、終了時刻を開始時刻より大きい数字で設定してください。

ルールの適用時間	<input checked="" type="radio"/> 常時 <input type="radio"/> 時間指定         0 時台 ~ 0 時台までの間         (終了時刻は開始時刻より大きい数字を設定して下さい)
<small>           ※ [9]時台～[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒～17時59分59秒までが対象時間となります。            ※ 21時台～8時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は、21時～23時のフィルターと0時～8時のフィルターを2つ設定して下さい。         </small>	

※[9]時台～[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒～17時59分59秒までが対象時間となります。

※21時台～8時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は、21時～23時のフィルターと0時～8時のフィルターを2つ設定して下さい。

(5) 実行する処理の内容を設定します。処理の設定は、複数設定する事が可能となっております。  
 新しく条件を追加するには、[新規条件の追加]、または[追加]ボタン、設定した条件を削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。

**実行する処理の内容** 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの処理内容を設定します。

次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールをコピーする 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない) 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す) メールを破棄する バケーションメールを送信する メールを削除する ルール評価を停止する	迷惑メール 迷惑メール 受信トレイ	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>
--	-------------------------	---

実行する処理の内容画面は、選択したメニューにより、5つのパターンに変化します。

◆パターン1：次のフォルダにメールを移動する、次のフォルダにメールをコピーする

(1)

(2)

次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールをコピーする	受信トレイ 受信トレイ 下書き 送信済みアイテム 迷惑メール ごみ箱 保存フォルダ	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>
--	---	---

(1)	次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールをコピーする	条件に該当したメールを指定したフォルダに移動します。 条件に該当したメールを指定したフォルダにコピーします。
(2)		選択したフォルダに(1)で設定した処理が実行されます。 ※初期フォルダは、ウェブメールにログインした際に自動作成されます。 ※初期フォルダには「受信トレイ」「下書き」「送信済みアイテム」「迷惑メール」「ごみ箱」「保存フォルダ」の6つのフォルダがありますが、ユーザーが自分で作成したフォルダがある場合はこの一覧に表示されます。

◆パターン2：次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない/残す)

(1)

(2)

次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない) 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない) 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す)	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>
---	---	---

(1)	次のアドレスにメールを転送する (転送後サーバーに残さない)	条件に該当したメールを転送します。 転送したメールはサーバーから削除します。 ※転送したメールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。
	次のアドレスにメールを転送する (転送後サーバーに残す)	条件に該当したメールを転送します。 転送したメールをサーバーに残す設定です
(2)		転送するメールの送り先のメールアドレスを入力します。

◆パターン3：メールを破棄する

(1) (2)

メールを破棄する

(1)	メールを破棄する	条件に該当したメールはサーバーから削除され、サーバーから差出人に送信不能の旨のメッセージが送信されます。 <b>※メールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。</b>
(2)	<p>差出人に対して送信するメッセージを入力します。未入力でも問題ありません。</p> <p>※差出人に送信されるメールのサンプル</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>差出人: Mail Delivery Subsystem &lt;postmaster@SiriusCloud.jp&gt; 宛先:                      件名: Automatically rejected mail 日時: Wed, 02 May 2012 16:04:26 +0900</p> <p>Your message to &lt;mailbox@siriuscloud.jp&gt; was automatically rejected:</p> <p style="border: 2px solid red; padding: 2px;">この部分に、(2)で設定したメッセージが表示されます。</p> </div>	

◆パターン4：バケーションメールを送信する

(1)

(2)

本文

---

件名

---

受信者

test@abcd.jp

返送禁止期間  日

(1)	バケーションメールを送信する	条件に該当したメールにバケーションメールを送信します。 バケーションメールは、休暇中などのメール返信が出来ない期間に、設定したメッセージを自動返信する機能です。
(2)	本文	自動返信するメールの本文を入力します。
	件名	自動返信するメールの件名を入力します。 <b>※件名は半角 70 文字、全角 15 文字以内の入力制限があります。</b>
	受信者	メールアドレスを入力します。 入力したメールアドレス宛てのメールを受信した際にバケーションメールが送信されます。
	返送禁止期間	1 度送った相手に再送を行わないよう期間を設定します。 1～90 日の間で半角の数字を入力します。

◆パターン5：メールを削除する、ルール評価を停止する

メールを削除する メールを削除する ルール評価を停止する	追加   削除
------------------------------------	---------

メールを削除する	条件に該当したメールをサーバーから削除します。 <b>※メールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。</b>												
ルール評価を停止する	<p>※複数のフィルター設定がある場合、上から順に適用されますが、ルール評価の停止ルールに合致したメールには、それ以下のフィルターの設定は実行されなくなります。</p> <p><b>【設定例】</b></p> <p>下図のようにユーザーフィルターを3つ設定している場合にユーザーフィルター2で『ルール評価を停止する』を設定していると以後のユーザーフィルター3が実行されなくなります。</p> <p>ユーザーフィルター2に『ルール評価を停止する』設定がある状態。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>フィルター名</th> <th>フィルターの編集削除</th> <th>フィルターの適用順の変更</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ユーザーフィルター1</td> <td>編集する   削除する</td> <td>優先度を上げる   優先度を下げる</td> </tr> <tr> <td>ユーザーフィルター2</td> <td>編集する   削除する</td> <td>優先度を上げる   優先度を下げる</td> </tr> <tr> <td>ユーザーフィルター3</td> <td>編集する   削除する</td> <td>優先度を上げる   優先度を下げる</td> </tr> </tbody> </table> <p>『ルール評価の停止』のフィルター設定以下はフィルター設定が実行されません。</p>	フィルター名	フィルターの編集削除	フィルターの適用順の変更	ユーザーフィルター1	編集する   削除する	優先度を上げる   優先度を下げる	ユーザーフィルター2	編集する   削除する	優先度を上げる   優先度を下げる	ユーザーフィルター3	編集する   削除する	優先度を上げる   優先度を下げる
フィルター名	フィルターの編集削除	フィルターの適用順の変更											
ユーザーフィルター1	編集する   削除する	優先度を上げる   優先度を下げる											
ユーザーフィルター2	編集する   削除する	優先度を上げる   優先度を下げる											
ユーザーフィルター3	編集する   削除する	優先度を上げる   優先度を下げる											

(6) 設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

**ユーザーフィルターの新規作成**

フィルターの名前

ルールの適用条件  以下のルールのいずれかに一致  以下のルールの全てに一致  全てのメールに適用

送信者 (from) が  を含む

ルールの適用時間  常時  時間指定  時台 ~  時台までの間 (終了時刻は開始時刻より大きい数字を設定して下さい。)

※ [9]時台~[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒~17時59分59秒までが対象時間となります。  
 ※ 21時台~8時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は、21時~23時のフィルタと0時~8時のフィルタを2つ設定して下さい。

実行する処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの処理内容を設定します。

次のフォルダにメールを移動する

## ユーザーフィルターの適用順の変更

ユーザーフィルターは、上から順番に適用されます。

優先順位は、ユーザーフィルター画面右端の「優先度を上げる」、「優先度を下げる」で操作します。

優先度を上げる場合は、該当フィルター名の「優先度を上げる」、

下げる場合は、該当フィルター名の「優先度を下げる」をクリックします。

※『ルール評価を停止する』が設定されていると、そのフィルター以下の設定は適用されませんのでご注意ください。

設定後、画面最下部にある**【保存する】**ボタンをクリックします。

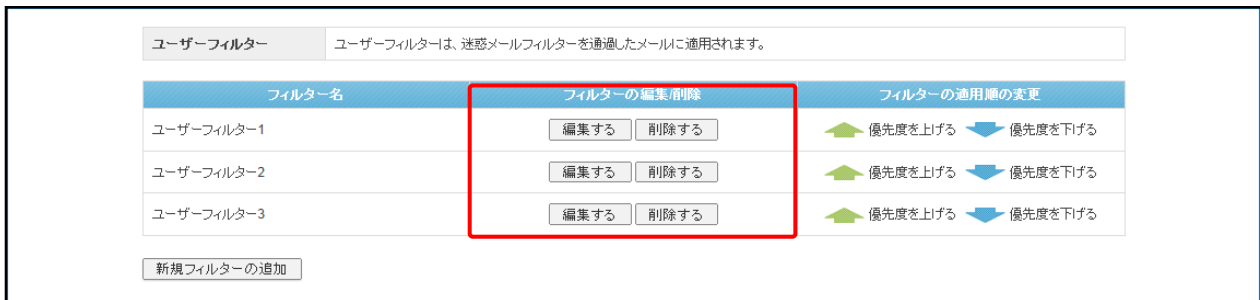


## ユーザーフィルターの編集と削除

設定したフィルター設定を編集したい場合は、該当フィルターの**【編集する】**ボタンをクリックします。

不要なフィルター設定を削除したい場合は、該当のフィルターの**【削除する】**ボタンをクリックし、画面最下部にある**【保存する】**ボタンをクリックします。

※**【保存する】**ボタンをクリックしないと、削除されませんのでご注意ください。





## My ホームページ

「My ホームページ」タブをクリックする事で、ウェブサービスの設定画面が表示されます。

※ウェブサービスのご契約を頂いている場合に、「My ホームページ」タブが表示されます。

### My ホームページ画面構成

My ホームページ画面では、設定変更可能な「ウェブアカウント一覧」が表示されます。



FTP アカウント	ログインしたユーザーに割り当てられているウェブアカウントが表示されます。 ●木次局：@user.kkm.ne.jp ●大東局：@usr.yoitoko.jp ●掛合局：@www2.i-yume.ne.jp ●飯南局：@www.iinan-net.jp
区分	「メイン」と表示されます。
状態	「有効」になっています。
登録日	ウェブアカウントの登録日時が、表示されます。
操作	【編集する】ボタンを押すと、アカウントの詳細設定の確認や変更画面が開きます。

## アカウント詳細/設定

(1) 設定の確認や変更を行いたい FTP アカウントの[編集する]ボタンをクリックします。



(2) 「アカウント詳細/設定」画面は、以下の構成になっています。



FTP アカウント	現在の操作対象の FTP アカウントを表示します。
区分	「メイン」と表示されます。
FTP アカウント変更	アカウントをリネームする際に使用します。
ウェブサイト URL	アカウントに割り当てられているウェブサイトの URL が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●木次局 : http://user.kkm.ne.jp/username/</li> <li>●大東局 : http://user.yoitoko.jp/username/</li> <li>●掛合局 : http://www2.i-yume.ne.jp/~username/</li> <li>●飯南局 : http://www.iinan-net.jp/~username/</li> </ul>
ディスクサイズ	アカウントに割り当てられているディスクサイズが表示されます。
使用率	現在のディスク使用率を数字とグラフで表示します。
状態	「有効」になっています。

FTP サーバー(ホスト名)	FTP 接続する際のサーバー名が表示されます。 ●木次局 : user.kkm.ne.jp ●大東局 : www.yoitoko.jp ●掛合局 : www2.i-yume.ne.jp ●飯南局 : ftp.iinan-net.jp
パスワード	FTP 用のパスワードの確認と、初期化/変更が行えます。
初期パスワード	アカウントが発行された時の初期パスワードが表示されます。
アクセスカウンター設定	[ <b>アクセスカウンター設定</b> ] ボタンを押すと、JavaScript(テキスト)と画像形式が選択できる簡易アクセスカウンターの設定ができます。
フォームメール	[ <b>設置方法</b> ] ボタンを押すと、問い合わせフォーム(メール送信 CGI)の解説ページが表示されます。

## FTP アカウント変更

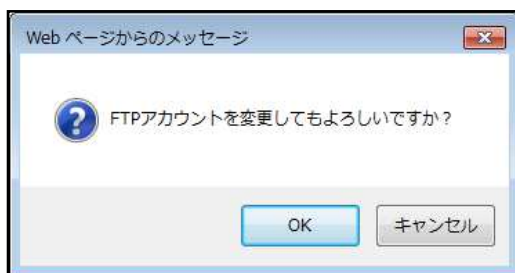
FTP アカウント変更で、FTP アカウント(ウェブアカウント)をリネームすることができます。  
Web のコンテンツデータは保持されたまま、FTP アカウントと URL が変更になります。

- (1) アカウント詳細/設定画面の「FTP アカウント変更」の入力欄に新しい FTP アカウントを入力し、  
[変更する] ボタンをクリックします。

FTPアカウント	XXXXX
区分	メイン
FTPアカウント変更	<input type="text"/> @ <input type="button" value="変更する"/>
ウェブサイトURL	http://www.xxxxx.jp
ディスクサイズ	100MB
使用率	4KB <input type="text"/> 0%
状態	有効
FTPサーバー(ホスト名)	xxxx@xxxx.jp
パスワード	<input type="password"/> <input type="button" value="初期化"/> <input type="button" value="変更"/>
初期パスワード	abcd34ef
アクセスカウンター設定	<input type="button" value="アクセスカウンター設定"/>
フォームメール	<input type="button" value="設定方法"/>

- (2) 確認メッセージが表示されます。

変更する場合は[OK]、変更をやめる場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。



- (3) 変更が完了すると、「FTP アカウント」欄に変更後のアカウントが表示されます。

FTPアカウント	XXXX
区分	メイン
FTPアカウント変更	<input type="text"/> @ <b>xxxx.jp</b> <input type="button" value="変更する"/>

### ■FTP アカウント変更失敗ケース 1 : 新しいアカウント 2 文字以下

新しいパスワードが短過ぎる (2 文字以下) 場合は、下図のメッセージが表示されます。

6文字以上で正しいパスワードを再入力して、[変更する]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- FTPアカウント が短過ぎます(3文字以上で入力してください)。

■FTP アカウント変更失敗ケース2：新しいアカウントに非対応文字を使用

新しいアカウントに不適切な文字列を入力した場合は、下図のメッセージが表示されます。

使用できない文字を入力していないかを確認し、再入力します。

※アカウントで利用出来る文字は、半角小文字のa~z、0~9、\_、-、となっております。

以下の入力エラーを修正してください。

- FTPアカウントは、半角英数小文字で適切な文字列を入力してください。

■FTP アカウント変更失敗ケース3：既に同じアカウントが存在している

既に同じFTP アカウントが存在している場合は、下図のメッセージが表示されます。

別のFTP アカウントを再入力して、[変更する]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- 「ftp\_sample01@web01.siriuscloud.jp」がすでに存在しています。

## パスワード変更

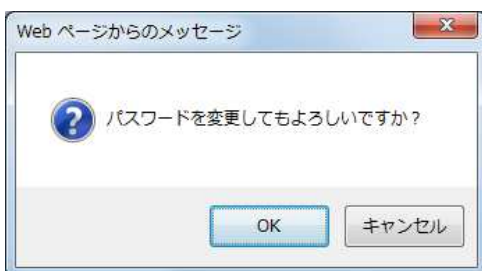
パスワード変更機能で、パスワードの変更と初期化が行えます。

- (1) アカウント詳細/設定画面の、「パスワード」の入力欄に新しいパスワードを入力し、**[変更]**ボタンをクリックします。

The screenshot shows a web interface for account management. The 'パスワード' (Password) field is highlighted with a red box. It contains a masked password '.....' and has '初期化' (Reset) and '変更' (Change) buttons next to it. Below the field, instructions state: '6～12文字の半角英数字、記号（「!」、「.」、「\_」、「@」、「\$」、「%」、「&」、「\*」、「~」、「|」、「/」）で入力してください。英字の大文字と小文字は区別されます。' (Please enter 6-12 alphanumeric characters and symbols. Uppercase and lowercase letters are distinguished.)

- (2) 確認メッセージが表示されます。

変更する場合は**[OK]**、変更をやめる場合は**[キャンセル]**ボタンをクリックします。



- ★ **[初期化]**ボタンを押した際には、入力欄の内容に関わらず、初期設定のパスワードに変更されます。その際には、下図のような確認メッセージが表示されます。



**■パスワード変更失敗ケース 1：新しいパスワードが5文字以下**

新しいパスワードが短過ぎる（5文字以下）場合は、下図のメッセージが表示されます。  
6文字以上で正しいパスワードを再入力して、[変更]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- パスワードが短過ぎます(6文字以上で入力してください)。

**■パスワード変更失敗ケース 2：新しいパスワードに非対応文字を使用**

新しいパスワードに不適切な文字列を入力した場合は、下図のメッセージが表示されます。  
使用できない文字を入力していないかを確認し、正しいパスワードを再入力します。  
※パスワードで利用出来る文字は、半角、a～z、A～Z、0～9、\_、-、\$、@、:、;、^、{、}、/、です。

以下の入力エラーを修正してください。

- パスワードは、半角英数字で適切な文字列を入力してください。

**■パスワード変更失敗ケース 3：新しいパスワードがアカウントと同じ文字列**

パスワードがFTPアカウントと同じ場合は、下図のメッセージが表示されます。  
FTPアカウントとは異なるパスワードを入力し、[変更]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- 新しいパスワードは、アカウントと同じ文字列で設定できません。

## アクセスカウンター設定

アクセスカウンターをウェブサイトを設置する事で訪問者数のカウントが行えます。  
JavaScript カウンターと画像カウンターの2種類のカウンターを用意しております。

(1) アカウント詳細/設定画面の[アクセスカウンター設定]のボタンをクリックします。

ウェブサイトURL	http://www. xxxxxx. jp
ディスクサイズ	100MB
使用率	4KB <input type="text"/> 0%
状態	有効
FTPサーバー (ホスト名)	xxxx@xxxxx. jp
パスワード	<input type="password"/> <input type="button" value="初期化"/> <input type="button" value="変更"/>
初期パスワード	abcd34ef
アクセスカウンター設定	<b>アクセスカウンター設定</b>
フォームメール	<input type="button" value="設置方法"/>

(2) 別ウィンドウで、アクセスカウンター生成エンジンが表示されます。

設置するカウンター種別、フォント設定等を設定します。

画面は、以下の4つの部分から構成されています。

(下図は JavaScript カウンターの例となります。)

**カウント数の確認/編集**

ユーザー名: sample\_user01 (1)

現在のカウント数: 0

カウント数を変更するには、上記に数値を入力して「カウント数を変更」ボタンを押してください。

10分以内の同一IPからのアクセスをカウントしない

---

**カウンターの表示スタイル変更**

カウンター種別 (2)

JavaScriptカウンター (4)  
 画像カウンター

---

**フォント種別**

サンセリフ - 1234567890  
 セリフ - 1234567890  
 カursive - 1234567890  
 ファンタジー - 1234567890  
 モノスペース - 1234567890

**表示桁数**

5桁表示  
 6桁表示  
 7桁表示  
 8桁表示  
 9桁表示

**フォントサイズ** (3)

8pt  
 10pt  
 12pt  
 13pt  
 14pt

**表示パターン**

パターン1  
 パターン2  
 パターン3  
 パターン4  
 パターン5

**プレビューとHTML**

左で設定したカウンターの表示サンプルです。

下記のHTMLコードを、あなたのホームページのHTMLに貼付けてください。

```
<script type="text/javascript"
src="http://web01.siriuscloud.jp/cgi-
bin/counter/counter_js.php?
user=sample_user01&hash=1ce84e45bf028c3
4bceb17099c6de816&dlh=1&long=0&font=0&
```



(1)	カウント数の確認/ 編集	<p>現在のカウント数が表示されています。</p> <p>任意の数値を入力し、[カウント数の変更]ボタンを押す事でカウント数を変更する事も可能です。</p> <p>チェックボックスをチェックすることにより、10分以内の同一IPからのアクセスをカウントしないような設定も可能です。</p> <p>※ご契約内容になり、10分以内の同一IPからのアクセスカウントを制限する機能が非表示の場合があります</p>
(2)	カウンター種別	JavaScript、画像カウンターを選択します。
(3)	表示設定	<p>フォントや、桁数、パターンの設定画面が表示されます。</p> <p>※カウンター種別で「画像カウンター」を選択した場合は、画像一覧から選択したカウンターが表示されます。</p> <p>画像一覧</p> 
(4)	プレビューと HTML	(2)と(3)で選択したカウンター設定のプレビューと HTML コードが表示されます。

(3)カウンターを設置したいWEB ページの任意の場所に、(4)のボックス内に表示された HTML コードをコピー、貼り付けする事で、アクセスカウンターが表示されます。

## フォームメール

フォーム設置に必要な説明とサンプルコードが記載されたページが表示されます。

(1) アカウント詳細/設定画面の[設置方法]のボタンをクリックします。

ウェブサイトURL	http://www.xxxxx.jp
ディスクサイズ	100MB
使用率	4KB <input type="text"/> 0%
状態	有効
FTPサーバー(ホスト名)	xxxx@xxxx.jp
パスワード	<input type="password"/> <input type="button" value="初期化"/> <input type="button" value="変更"/>
初期パスワード	abcd34ef
アクセスカウンター設定	<input type="button" value="アクセスカウンター設定"/>
フォームメール	<input type="button" value="設置方法"/>

(2) フォーム設置に必要な説明と、サンプルコードが記載されたページが表示されます。

■■■フォーム 設置方法■■■

ホームページ上で必要事項を入力して、送信ボタンで一発送信！  
 指定のメールアドレスへ、簡単に送信できるフォームの設置方法です。

(下の画像は、フォームの一例です)

名前:

メールアドレス:

タイトル:

コメント:

<<<< フォーム 設置の手順 >>>>

1) まずHTMLで、フォームの骨組みを記述します。

例) 上記のフォーム例をタグで記述したものが、以下のHTMLです。  
 (便宜上、行頭に#番号をふっていますが、ファイルを作成する際は「#01」などの番号は不要となります。)

```
#01 <form name="form1" method="post" action="http://web01.SiriusCloud.jp/cgi-bin/mailform/mail.cgi">
#02 <input type="hidden" name="mailto" value="user_name@SiriusCloud.jp">
#03 <input type="hidden" name="title" value="サービス紹介ページ">
#04 <input type="hidden" name="subject" value="サービスのお問い合わせ">
#05 <input type="hidden" name="required" value="お名前">
#06 <input type="hidden" name="url" value="http://web01.SiriusCloud.jp/user_name/thankyou.html">
#07 名前:<input type="text" name="お名前"><br>
#08 メールアドレス:<input type="text" name="メールアドレス"><br>
#09 タイトル:<input type="text" name="タイトル"><br>
#10 コメント:<textarea name="コメント" cols="50"></textarea><br>
#11 <input type="submit" value="送信">
#12 </form>
```

2) では、一行ずつ内容を見ていきましょう。